

パンダ先生の 「こそっと一息」

孤軍奮闘編!!



パンダ先生のセピア色の思い出!!

いよいよ新年度が始まってしま
いましたが

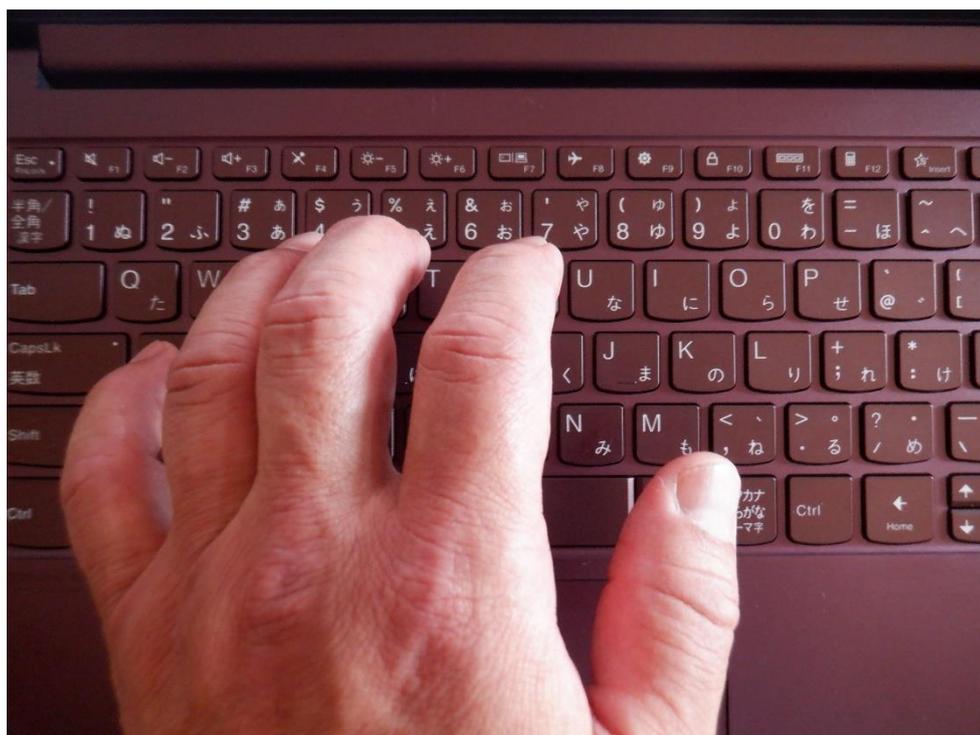
みんなは、今どんな感じい~!?



ちなみにパンダ先生は、この新シリーズを、新しいパソコンで皆さんにお届けしてまあ～す!?

まだ、新しいキーボードに慣れてないんで、タイピングがうまくいきません!!

けっして! パンダ先生の指が、全部シャウエッセンそっくりで、一度に2つ押しちゃうからではありませんっ!



パンダ先生の中学生時代は、自転車通学でしたが、なぜかヘルメット着用がルールでした！

もちろん！当時の**パンダ先生**や、**とものいくん**たちは、そのルールを順守し!?ヘルメットをかぶってチャリ通をしてました。



ちなみに、当時の**パンダ先生**は柔道部に！**とものいくん**は陸上部に所属してました。

そんな、**とものいくん**の一番輝いていた瞬間が、部活中にトラックを走っていた時

おもいっくそ！ 野球部の外野ノックが脳天を直撃し!!

めっさ白目むいたまま、救急車で運ばれたときです。



そんな、ステキな中坊ライフをおくっていた**パンダ少年**たちですが、**少年たち**にとっては田舎の時間はとってもスローで、刺激の無い日々でした。

ある土曜日の昼下がり！当時の土曜日はお昼まで授業があったんで、**パンダ少年**たちは部活がお昼から始まって、夕方前には解散になっていました。

こんないたずら大好きキッズたちに、時間を与えると当然の如く、訳のわからん悪だくみが始まります！

とものい「な～！パンダぁ～？ なんかおもろいこと無いの？」

こんな田んぼしか無い田舎に、そうそう面白いことは転がっていません!!

パンダ少年「山行く？ それとも田んぼでなんかする？」



そう言って**とものいくん**の方を見ると

とものい「いやっ!! どっちもやめとく！」

アウトドア・クッキングがよぎった**ともい**の瞳には、不安の色がチラ見します！

パンダ少年「ほしたら、ヘルメットかっこよくせ〜へん？」



一瞬トラウマがよぎった**ともい**ですが、**クッキング**が回避されたことで、満面の笑顔です。

ともい「なになに？ それってど〜すんのん？」

ともいは興味津々です。

当時、巷では**エアガン**や**ガスガン**が大ブームで、ご多分に漏れず**パンダ少年**たちのあいだでもがつつり流行っておりました。

パンダ少年「サバイバルゲームするときにも使えるように、ヘルメットに色塗んねん！」

もちろん、学校のルールには「ヘルメットに色を塗るべからず」はありませんが、ちょっと考えたらわかる、アカンやつです。

さっそく、**オリーブドラブ**のスプレー缶を調達し、自分のヘルメットを自衛隊の装備のようにします。



とものい「うわぁ～！ カッコええやん!! でも、一色やったらなんか弱そうやで？」

なんか、二人ともノリノリになったせいで、イタイ感性が大爆発してきてます！

パンダ少年「そしたら、カモフラにしたらええねん！」

パンダ少年はおもむろに、黒や茶色のスプレー缶で**迷彩模様**を描き込みます！



とものい「パンダあ〜！ すげえ〜〜!!!」

とものいくんはヘルメットを眺めて大喜びです！

**パンダ少年「よっしゃ〜！ 一丁上かい〜 そしたら
とものいもヘルメット貸して♪」**

一瞬にして、**とものいくん**の顔が曇ります。

とものい「え、え、～～！ こんなんで学校行ったら、めっさ怒られるやん」

とものいくんの一言が、二人を現実に戻します

悪のりの挙句に二人の間に残されたのは、迷彩柄に塗られた通学用のヘルメットでした。

パンダ少年「やっば怒られんかな～」



とうぜん、怒られます!!

二人「うっ～ん」

三人寄れば文殊の知恵と言いますが、残念ながらここには2人しかいません！

二人「そやっ！ 見えんかったらええねん！」



臭いものには蓋をする！といった根本的な解決の無い、一番アカンやつです。

さっそく、**パンダ少年たち**は新聞紙と白テープを駆使して、ヘルメットの上からかぶせる「**ガワ**」を作り迷彩柄ヘルメットにスッポリとかぶせます。

とものい「すげえ～やんパンダ！ カモフラが見えんように なった」

ただ、見えなくなっただけで、根本は解決していません!!

パンダ少年「せやろ～！ 遠くから見たらバレへんやん！」

近くから見たら、ヘルメットがおかしなことになってんのは、モロバレです。

しかし、未熟な二人にとっては、問題点が見えなくなったことで安心して、勝手に解決させてしまったつもりになっちゃいました。



それから、なぜか？半年くらいは全くバレずに登校し、しかも帰りには他の友達に自慢するというアホ満開生活をしておりました。

しかし、悪いことしてんのが、そうそう長続きするはずもなく。

迷彩ヘルメットにも飽きてしまったある日、突然！
パンダ少年は職員室に呼び出され!!

F 先生「おまえはどここの忍者やねんっ！」

よくわからんツッコミとともに、ぶち怒られました



ぶち怒られながら、パンダ少年の心の中では・・・

なんで忍者なんやろ???

この疑問しか思い浮かびませんでした！



元ネタを知ったのは、結構大人になってからです！

教訓!!

「天網恢恢

疎にして

漏らさず」



常識の範囲内って、だいじなんよ～！